

光栄の森

平成23年8月 毎月1日発行 第38号

発行者 榊光栄プロテック 木之下

8月を迎えて

代表取締役 三田雅憲

暑い季節を迎えました。関東のほうでは節電意識が高く、夜間も街灯照明が減り薄暗い状態で電車やデパートなども涼しさ半減でムツとしているそうです。原発問題も収束しておらず、世の中が非常に暗く落ち込んでいるそんな中で、なでしこジャパンの選手たちがサッカーワールドカップで優勝したニュースは本当に日本中を明るくしてくれた気がします。彼女たちの試合には絶対にあきらめない気持ち・チームメイト同士や監督を含むスタッフとの深い絆や信頼関係の強さなど世界一になる要素が満ち溢れていました。世界一というのは本当に難しいことで、私はドイツ戦でおそらく勝てないであろうなんて偉そうな考えをしていました。が、なんのそのドイツ戦をきっちりときめ、続くスウェーデン戦も快勝し、決勝へ進み見事に優勝を決めました。アメリカ戦でも、なんどもなんども先制されながらも追いつき最後はPK戦までもつれこみ見事に勝利を飾ったことは、皆さんの記憶にも新しいところだと思います。いつ頃からか日本人が、“今さえ良ければよい。自分さえ良ければよい。”という国になっている気がします。敗れはしましたがアメリカの日本に対するコメント『すばらしい国と戦うことが出来た』など、相手をたたえる懐の大きさや相手を思う気持ちは見習う必要があると感じました。

私たちも、厳しいビジネスの世界に生きており、程度はまったく違いますが、日々戦いをしていると思います。戦いは誰としているのかと考えたときに、これはライバルの塗装屋だけではなく自分自身であるとも思います。自分に負けてゆるい仕事をしてみたり、責任感のない仕事をしてみても決して良い結果はでていないと皆さんも感じていると思います。自分に厳しくやるというのは非常に大変です。どうしても楽に楽に動き考えていくのがわれわれの常ですから。しかし一旦これをやると目標を決めたことに関しては、決してゆるくしない努力が必要なのではないかと思えます。

最近アフリカでは、南スーダン共和国がスーダンから独立したことを報じるニュースがありました。長い内戦の末に勝ち取った独立です。たくさんの血が流れたそうですがその殉職者の血が今につながった、無駄死にはなかったと初代大統領はコメントしておられました。国民のあきらめない気持ちが独立を勝ち取ったのでした。「目標や目指すものに対して絶対にあきらめない強い気持ち。」このことを最近のニュースが私たちにそのことを教えてくれている気がします。

お盆休みまで、身体に気をつけてお客様の仕事を少しでも前倒しできるようにもがんばりましょう。

夏季休暇：8月11日～8月16日

